

企業の新しい生産性とコスト効率性と新しい技術における製品と製品における品質要求とその完成度における新規基準

黒田インターナショナル

黒田 毅

これら生産性が、100%の向上を得ることは、企業努力における市場変化において可能である。またコスト基準が、コスト削減と効率化において、その生産と間接における新しい企業判断において、コスト基準の健全性の構築を可能とする。

新しい技術は製品を飛躍させる。これは世界市場における製品が、これらを有することにおいて企業における自己要求は必ず存在するのである。

品質基準は過去の品質管理をさらに飛躍させ、製品と企業環境における製品の完成を要求する。

これらは明らかに企業環境の変化が、市場の革命的变化において存在することへの認識を求められる。これら企業転換は、企業利益の健全性を与えるのである。これは正しい市場認識であり、企業計画が早急に企業の新しい構築を求められるのである。

これらは明らかに企業基準の 180° の転換を必要とするのである。これは市場変化が存在するからなのである。

世界市場が新しい企業群におけるその大幅な変化は、現実であり、それを否定して企業経営は今日成り立たないのである。

これらは改善と向上という現実、企業努力に結晶として世界の全ての市場に存在することにおける変化が存在するのである。

これは、明らかに日本企業は、後塵を拝するのであり、さらに未来が存在するのである。これら相違は、自己の絶え間なき向上という現実と既存現実への停滞性、新しい創造性と既存現実への維持という相違が、今日における現実において、対極を有するのである。

世界におけるトップ企業は、自己の豊かな資本力とともに、未来への新しい開発を有するのである。